

大館市立北陽中学校を紹介します！

今年4月から長期研修員として、秋田県大館市立北陽中学校に派遣している萩原透指導教諭からのレポートをお届けします。

大館市立北陽中学校について

全校生徒158名の学校です。

平成27年4月に大館二中、花岡中、矢立中の3校が統合して、大館市北部に開校した学校です。未来の大館市を支える人材育成と、北陽中の校名が示すように「北の大地を太陽のように照らす学校」を目指しています。

※写真は、昨年度以前のものです。



学び合いの様子



伝統の全力校歌



地域ボランティア



大館市立北陽中学校の
ホームページはこちらから！

教育目標解説について

【北陽中学校 教育目標】
「心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」

北陽中学校には、「教育目標解説」というものがあります。これは校長先生が、歴代校長や全教職員と意見交換して策定したものです。統合当時の「思い」や「苦労」を現教職員が受け継いだり、共有したりするために作成されました。

内容は9ページにわたり、「目標を設定した趣旨と経緯」「使用している言葉の解説」「学習指導要領や大館市の教育との関連」などを文章で示し、目標をもとに進める学校経営のイメージ図も掲載されています。

教育目標 「心打つ振舞い」とは

生徒が日常を営む上で、「振舞い」が求められる場面は無数にある。極端に言えば、生きることそのものが振舞いの連続である。……………(略)

社会とは、そこにいる皆が、ほんの少しずつの「辛抱」を出し合って、全体の幸せを形作って成り立っており、そのために必要な要素が、「共感」と「規律」である。

本校では、学校教育活動を通して、「共感」と「規律」を有した振舞いができることを目指すものである。

「北陽中学校教育目標解説」より抜粋

(2) 使用している言葉の解説

学校の教育目標は、その学校が目指す教育の在り様を端的に表したものである。この目的のもと学校が定める学校経営をイメージ化したものが次である。以下、このイメージ図に基づいて解説する。

① 心打つ振舞い

生徒が日常生活を営む上で、「振舞い」が求められる場面は無数にある。極端に言えば、生きることそのものが振舞いの連続である。……………(略)

社会とは、そこにいる皆が、ほんの少しずつの「辛抱」を出し合って、全体の幸せを形作って成り立っており、そのために必要な要素が、「共感」と「規律」である。

本校では、学校教育活動を通して、「共感」と「規律」を有した振舞いができることを目指すものである。

「北陽中学校教育目標解説」より抜粋

『教育目標解説』

萩原指導教諭のつぶやき

「えっ？4月1日にクラス発表と部活動顧問の発表？」

派遣初日に一番驚いたことは、4月1日にクラス発表が行われたことです。

8時30分に、在校生が体育館に集合し、新クラスが発表されました。在校生は、「一緒になれてうれしい！」など歓声をあげていました。午後には、新1年生のクラス発表がありました。新1年生と保護者と先生方が、笑顔であいさつや会話をしている、和やかな雰囲気で行われました。

お話を伺うと、秋田県では、前年度や新年度の早い時期にクラス発表を行う学校が多いようです。

